

(公社)日本薬剤学会「薬剤師宣言」(前文)－ 2017.06.30 日本薬剤学会「医療ZD*と完全分業」FG**

日本薬剤学会は、1985年10月1日に創立されたが、1987年8月29日に国際薬学連合(FIP)に加盟したのを機に、日本における国際標準医薬分業(完全分業)推進の活動を進めて来た。2011年5月24日に、当時の厚生労働大臣に、本会会長並びに名誉会長が面談して、この推進事業の意思表示とご支援を陳情したのが本活動公言の最初である。

以来、上記元厚生労働大臣のご指導・鞭撻をいただき、例えば、国際薬学連合(FIP) 100周年記念大会での講演「The Internationalization of Pharmacy - Moving away from Medical Doctors' Dispensing in Japan」(2012)、及びアジア薬科大学薬学部長会議での講演「Activity for Moving away from Doctors' Dispensing in Japan」(2014)を始め、国内での各種シンポジウム、市民講演会等により、活動して来た。加えて2015年に「医療ZDと完全分業」FGを設けて活動を展開して来た。上記国際講演では、“先進国の日本で、医師が調剤できる? ”、という驚異的な質問があったことを特記したい。日本が先進国で唯一の「医師の調剤」容認国であることについての国際的関心は拡大しつつあるのを感じる。薬剤師の身分は、世界共通だからである。

明治維新による欧米文化導入の一環として、明治政府が1874年に発布した医薬分業は、医制第41条に示され、医師タル者ハ自ラ薬ヲ蓄グコトヲ禁ズ 医師ハ処方書ヲ病家ニ付与シ相当ノ診察料ヲ受クベシ、の如く「医師の調剤」を禁ずる完全分業であった。しかし、これは僅か15年続いただけで、薬剤師不足を理由に1889年に「医師の調剤」容認に移行した。そして、「任意分業」と称して、「医師の調剤」禁止の分業の原点に復帰することなく、約130年維持されて今日に至っている。

注) ZD*: Zero Defect. 無失点運動。 FG**: Focus Group. フォーカス グループ。

「薬剤師宣言」

公益社団法人 日本薬剤学会 — 2017.06.30
先進国で唯一の「医師の調剤」容認国からの脱出
韓国に倣い目標は2025年

日本薬剤学会「医療 ZD*と完全分業」FG**

1. 分業は、「医師は処方し薬剤師は調剤する」ことである。
(日本では)「医師の調剤」が、医師法第 22 条、歯科医師法第 21 条及び薬剤師法第 19 条、各条の例外規定に基づき容認され、先進国で唯一、真の薬剤師資格は確立されていない。
2. 分業は、人類の叡智に由来する、医師及び薬剤師の相互独立した 2 人制ダブルチェックシステムである。(日本では) 医師 (処方箋被鑑査人) 及び薬剤師 (処方箋鑑査人) それぞれの機能が発揮されず、医薬の安全は保証されない。
3. 調剤は、「処方鑑査」と「薬剤調製」の 2 段階から構成され、前者が薬剤師固有であり、調剤の主業である。(日本では) 後者を調剤の主業と認識して前者が軽視され、医師なら調剤が可能と見倣され、「医師の調剤」容認に進んだ。
4. 分業の制度と機構から「薬剤師 Ethics」が生まれ、薬剤師職業の基盤と成り、「薬剤師は市民に頼られる職業として連続最上位」(Gallup 調査) の社会評価を得る。(日本では) 真の分業が存在しないので「薬剤師 Ethics」は生まれない。

追記) 上記「医師の調剤」の廃止は、医師法第 22 条、歯科医師法第 21 条及び薬剤師法第 19 条、各条の例外規定の廃止により達成される。隣の韓国は、2000 年に「医師の調剤」を廃止した医療先進国である。

注) ZD*: Zero Defect. 無失点運動 / FG**: Focus Group. フォーカス グループ